

## 命の森を豊かにする。安心して暮らせるまちづくり分科会提言シート

## ～ 障害者市民～

あしたの箕面	障害のある人もない人も共にいきいき暮らす箕面 障害者が一人の人と認められる箕面
四次総計の目標 (きのうのあした)	ノーマライゼーションの実現 障害者市民の自立を総合的に支援する地域福祉の充実 障害者市民が選択できる多種多様なサービスの創出
きょう (情勢と課題) (第3期実施計画)	<p>障害者自立支援法の施行等で障害福祉を取り巻く環境は大きく変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応能負担から応益負担</li> <li>・ 応益負担については、国が様々な低減策</li> </ul> <p>障害者市民の置かれている状況と社会情勢の変化に即した施策展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Nプランの策定 新Nプランを策定中</li> <li>・ ライフステージに応じた施策の総合的・横断的展開</li> </ul> <p>経済的自立につながる障害者雇用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1990年(財)箕面市障害者事業団を設立</li> </ul> <p>財政状況から、就労支援施策等の政策的転換が検討課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域を基盤に自立をめざした生活支援策を推進</li> </ul> <p>障害者施策と他の福祉施策等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービスの見直しや組み替え、提供する手法などを改善することにより支出の維持抑制</li> </ul> <p>障害当事者やその関係団体との役割分担の明確化及び協働を促進する必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活における困難を補う支援強化</li> </ul> <p>障害当事者やその支援者、ひいては市民の意識に働きかける事業を効果的に展開する必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流・ふれあいの機会の充実と啓発活動</li> </ul>
あしたのために (次期総合計画 への提言)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害者自立支援法施行の下で箕面市の先進的などりくみを法的に保障する条例制定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「社会の理解」が、障害者の権利実現の条件</li> <li>・ 障害者施策の理念の明文化</li> </ul> </li> <li>2. 障害者市民の経済的自立を促進するための本市独自の就労支援施策の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働く場を通じた支援の継続(雇用契約、最賃制)</li> </ul> </li> </ol>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 一般就労支援</li><li>・ 社会的雇用</li><li>・ 作業所への支援</li><li>3 . 地域での自立をめざした生活支援策を推進<ul style="list-style-type: none"><li>・ ひとり世帯高齢者と障害者のグループホーム</li><li>・ 障害者向け改装賃貸住宅オーナーへの支援</li></ul></li><li>4 . ノーマライゼーション理念の事業化の検討<ul style="list-style-type: none"><li>・ 理念の視覚化のために会社、学校等で相互体験</li></ul></li><li>5 . 日中活動の場の拡大、充実<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社会生活訓練を終えたあとの行き場所さがし</li><li>・ 街かどデイサービスを法の枠を超えて活用</li></ul></li></ul>
--	--

命の森を豊かにする。安心して暮らせるまちづくり分科会提言シート  
～ 市民の健康づくり～

<p>あしたの箕面</p>	<p>子ども、成人、高齢者など全ての市民が健康で元気に暮らし、健康寿命が長いまち</p>
<p>四次総計の目標 (きのうのあした)</p>	<p>“自らの健康は自ら守り、つくる”を基本 保健事業について、二次予防(検診等)を核としながら、一次予防(健康増進・健康教育等)を重点化 地域医療システムの充実と地域中核病院である市立病院の質の向上</p>
<p>きょう (情勢と課題) (第3期実施計画)</p>	<p>健康みのお21の策定 ・母子保健、成人保健、高齢保健、基盤整備の領域で目標設定 メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)に着目した健康教室の実施 ・特定健康診査実施率を指標に後期高齢者保険制度への支援金を調整(国によるペナルティ) 15歳～39歳の健康診断は、市単費事業のため存亡の危機 健康づくりの一環としてのウォーキングの推進 ・ウォークメイトの養成から協働 健康づくりの一拠点である地域の公園の未整備</p>
<p>あしたのために (次期総合計画への提言)</p>	<p>1. 「健康都市みのお」(自分の健康は自分で守る)市民運動を展開 ・自分の健康は自ら守り、つくり、保つ自覚を定着 ・市民が主体となって各地域で「健康広場」を開く ・官民施設のフル活用 ・運動指導員の確保と活用 ・心の健康にも配慮 ・箕面の自然(山、滝等)を活かした活動も組み込む 2. 基本健康受診率の高水準の維持 ・各種疾患の予防や初期治療推奨を最新の医療技術に基づき実施 3. 国保・介護保険保険者として被保険者へ「健康づくり」を総合的説明 ・新規保険加入者に保険制度、健診制度、「健康づくり」活動への参加などを総合的に親しみやすい方法で説明</p>

## 高齡者と介護

<p>あしたの箕面 目指す暮らし・ まちの姿 (問題意識と取 り組み結果)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>いきいきと豊かな人生を楽しむ高齡者の多い町</u></li> <li>2. 多くの高齡者が就労、ボランティア、スポーツ・趣味など多様な活動を社会ですすめ、地域の活性化に加わっている</li> <li>3. 介護のみならず介護予防、健康作りの意義など高齡者に係わる情報を幅広い市民がよく理解している</li> <li>4. 介護サービスの一端を多くのボランティアが担うと共に、要介護者が孤立することなく生活する暖かい社会が創られている</li> </ol>
<p>課題・方向性；</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齡者の増加が続き(22,668/'07 vs 32,577人/'14)、'14年の高齡化率は23.8%になるものと予測されている。要支援・要介護者は同期間に3,757人から6,814人に増加すると予測されている</li> <li>2. 箕面市の介護保険料は現在大阪府平均より低く抑えられているものの(4,000 vs 4,580円/月)、介護保険標準給付費は大きく増加するものと推計されている(51/'06 vs 63億円/'08)</li> <li>3. 人口の1/4近くを占めることになる高齡者群が健康で元気に過ごす社会を作り出すこと自体が、介護と同等以上に社会にとっての重要課題である</li> <li>4. 介護のみならず介護予防、健康づくりなど高齡者の生活に係わる情報を若年者を含む幅広い市民に広めることが、高齡者に対する理解を深めると共に、高齡と介護・介護予防・健康づくりの関連とその社会的意義を認知させる事になる。</li> </ol>

またこのような理解が介護は自分の問題であるものと自覚する市民を増やすことにつながる

- 5 . 介護はヒトの生活を手助けするものであるからボランティアの参加は極めて似つかわしい。  
要支援・要介護者の立場に立って介護を進めるボランティアは介護に潤いを与えるものと期待される